

農委広報

第52号

2026.1月

たかはた

高畠町農業委員会 TEL 52-4479



“農”と共に生きる 35



太陽のように

株式会社ソルルス 代表取締役社長

土屋

隼さん(駄子町)



「高畠町を明るく照らしたい！」そんな想いからソルルスという名前の会社を設立しました。ソルは「太陽」、ルスは「田舎」。明るいイメージのラテン語を使った社名です。

弊社では、ぶどうの生産、加工、販売を行っておりませんが、中でも集客力とリピート率を意識した土屋農園ぶどう直売所の経営に注力しております。品揃えや品質はもちろんですが、お客様が気持ちよく買い物をして「また来たい」と思ってもらえるような接客を最も心がけています。そんな接客をしていると、よく県外のお客様から「高畠町はとても農産物のイメージが強い」と耳にします。その度に、高畠町の農業の伸び代はまだまだあるんだなと実感しています。しかしながら、「つらい・休みがない」というネガティブな印象が強いのか、若い農業者が増えていないのが現状です。

我々世代の農業者が明るく楽しく稼ぐこととでいい手本となり、次の世代の農業者が目指す目標になれるよう、日々精進していきたいと思っています。



農業委員会

年頭のご挨拶

会長 山口 令和

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、当委員会の活動に対して、日頃よりご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、二月の大雪から始まり、猛暑線状が数カ月続いたことによる山間地での水不足が散見されました。様々な対応策が講じられてはありましたが、米の収量へ大きな影響を与えたものと思います。

水稻については、概算金が一昨年に引き続き一万円高の「三万円」となり過去最高を記録しました。今後も米価が乱高下しないよう、国の施策に期待しているところです。果樹については、台風が一度も来なかったことで被害が少なく、単価も上向きとなったことは良かったと思います。

しかしながら、肥料・燃油等の農業生産費は依然として高水準であり、まだまだ予断を許しません。昨年は鈴木憲和氏が農林水産大臣に就任されましたので、今後の農業の発展に期待し、大いに手腕を発揮していただきたいと思っています。

「地域計画」については、十年後の農用地集積・最適化支援を目指しておりますが、担い手は限度いっぱいになっており、新たな生産組織の育成が急務と考えます。そのためにも、町はもとより、国、県の強力な支援が不可欠です。さらに、農地を貸す人・借りる人をシステムで明瞭化し、農業者の確保を独自に構築していくべきであると考えます。

農業委員・農地利用最適化推進委員は、就任から三年が経ち任期満了となる年ではありますが、農業者が自信をもって経営に取り組んでいけるよう、二十八人全員で要望等を取りまとめながら、一層、関係機関との連携強化を図ってまいります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます、年頭の挨拶いたします。



今年もどうぞ

よろしく願っています



農 業 委 員

●高畠地区

佐藤 泰彦(塩森) 菅野 仁一(金原湯在家)

●二井宿地区

高梨 修一(入)

●屋代地区

嶋津 功美(時沢) 横山 裕一(三条目)
齋藤 真徳(相森)

●亀岡地区

栗田 亮一(入生田南) 高橋 正利(入生田北)
黒田 雅幸(船橋)

●和田地区

高橋 稔(川北下) 庄司 和美(下和田南)
山田 文則(下和田南)

●糠野目地区

萩原 拓重(上町) 長谷川みどり(上平柳)
安部 春一(元山崎) 山口 令和(夏刈)

農地利用最適化推進委員

●高畠地区

遠藤 真二(飯森) 高梨 義崇(鳥居町)

●二井宿地区

長澤 広幸(中)

●屋代地区

菅野 誠一(山越) 結城 義孝(西館)
樋口 亨(館の内)

●亀岡地区

青木 正喜(亀岡三) 本田 孝博(中島南)

●和田地区

二宮 政博(上和田第三) 戸田 雅弘(佐沢下)

●糠野目地区

齋藤 善博(仲町) 丹野 雄史(石岡)

まほろばの里 農業の未来を拓く!!

株式会社はまえん 代表取締役 阿部 明日香さん(入生田西)

○就農のきっかけ

子どものころから農作業を手伝い、農業を身近に感じていました。高校卒業後は県外で社会人生活を過ごしましたが、「生まれ育った町でがんばってみたい。」と考え、平成28年に高島町へUターン。その後は様々な研修会に参加しながら、令和3年2月に農業経営の法人化をしました。

○現在の経営内容

- ・ 水稻(つや姫、雪若丸、はえぬき(特別栽培)): 9ha
- ・ 果樹(デラウェア、大粒ぶどう): 0.5ha
- ・ 大豆: 1.5ha

○今後の抱負

10年後に担い手がいなくなる農地の割合が3割を超える見込みであると、農林水産省から発表されました。高騰する農業機械や燃料費、不安定な米価も含め、将来の不安が大きい部分もありますが、家族で力を合わせて、農業の魅力あふれる高島町の風景を守っていききたいと思います。



農地の移動・転用等は手続きが必要です。



- 農地の取得・貸し借りなど権利を移動するとき
▶▶▶ 農地法第3条許可
- 自分の農地を農地以外の用途で使用するとき
▶▶▶ 農地法第4条許可
- 農地以外の用途で第三者が取得・使用するとき
▶▶▶ 農地法第5条許可

STOP!



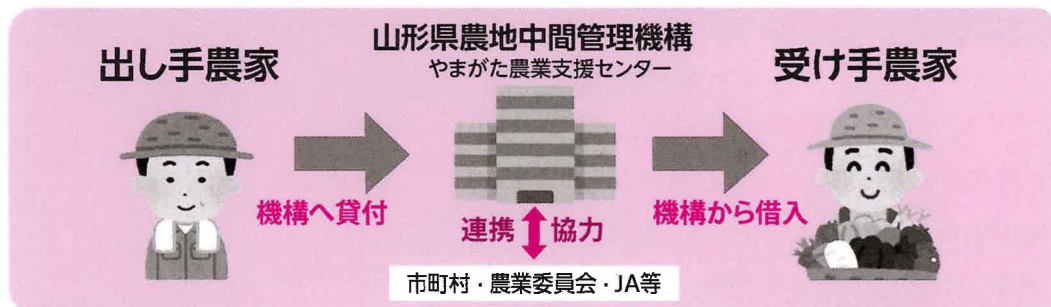
農業委員会では、農地の権利移動や転用の許可など、毎月「農業委員会総会」を開催し、農地法に基づく審査を行っています。

その土地は農地では
ありませんか?

田の移動・転用等は締切にご注意ください

田に関する手続きは、原則「稲刈り後から翌年春(農作業前)まで」です。
申請書類の締切は令和8年3月9日(月)ですので、お早めにお手続きください。

農地の貸し借りの制度の 農地中間管理事業をご活用ください



出し手農家のメリット

- * 公的機関が農地を預かるので安心です。
- * 契約期間終了後には確実に農地が戻ります
- * 賃料は確実に機構から振り込まれます

受け手農家のメリット

- * 複数の出し手農家の農地を借りても契約は機構とのみ行うので手間が省けます
- * 口座振替で賃料の支払いが便利です

農地中間管理事業の手数料について

◎令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いしています

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。

このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。

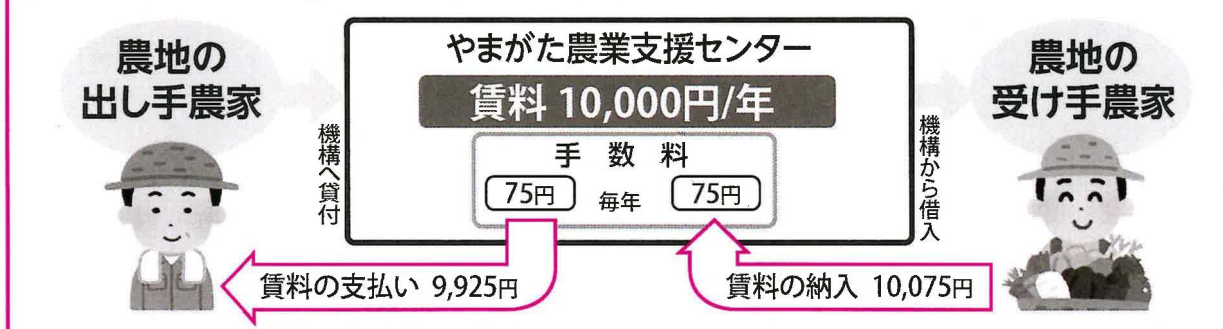
なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◎手数料の概要

対象者	対象となる契約	納付時期・方法	手数料率	その他
出し手農家 (所有者)	令和6年10月以降に公告となる ・満期再契約 ・更新・新規契約から	毎年11月の賃料支払いの際、手数料を差し引いて支払いいたします	出し手・受け手それぞれ 0.75%	・農地バンク事業の賃貸借契約の際に、出し手農家・受け手農家それぞれから、毎年手数料のご負担をお願いします
受け手農家 (耕作者)	★直ちにすべての契約が対象となるものではありません ★実際の納付は令和7年11月からです	毎年11月の賃料支払いの際、手数料を上乗せして納入いただきます	年間賃料が1万円の場合 手数料は75円	

◎手数料納付のイメージ

(10aあたりの賃料が年間10,000円の場合の例)



詳しくは やまがた農業支援センター(☎023-631-0697)またはセンターのホームページをご覧ください

老後の生活費、増やせます

農業者の皆さんは、「**農業者年金**」に加入することができます。さらに、一定の要件に該当する方は、**保険料の手厚い国庫助成(政策支援)**もあります。農業者年金に加入して、豊かな老後を過ごしませんか？

加入の3要件

- ① 20歳以上60歳未満※
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者
(保険料免除者を除く)



※国民年金任意加入被保険者は、65歳まで加入できます

経営とくらしに役立つ 農業総合専門誌



全国農業新聞

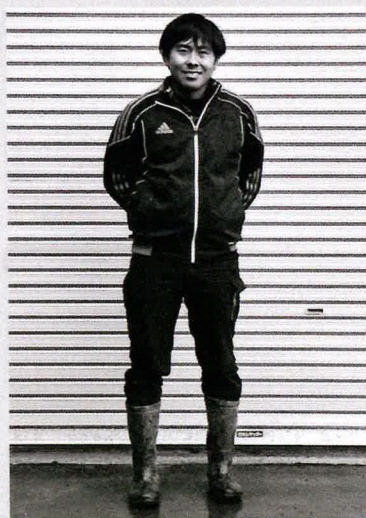
- 発行日
毎週金曜日
- 購読料
新聞本誌
…月額700円
電子版
…月額500円
- 発行所
全国農業会議所

【申し込み】

農業委員会事務局 ☎52-4479

お問い合わせ

詳しくは、高畠町農業委員会事務局(☎52-4479) または、JA山形おきたま たかはた支店(☎52-0057) へお尋ねください。



高畠地区で稲作・ぶどうで複合経営を行っております。高齢化が進み、農業を行う人も時間も限られてきたため、省力化技術の取り組みに力を入れているところです。

農業者年金には父と母が加入しており、二人のアドバイスもあり加入することになりました。加入にあたり話を聞いてみると、少子高齢化時代に強い積立方式確定拠出型であったり、税制面での優遇措置があったり、保険料を自由に決めることができたりと様々な点においてメリットがあり、加入してよかったと感じました。

農業経営は天候や市場の影響を受けやすく、将来の見通しが立てにくい仕事でもあるため、自分の老後資金を計画的に積み立てられる制度があることは大きな支えとなると思います。

農業者年金に加入して

早川 弘夢さん(大町二)

あなたも農業を始めてみませんか！ 高畠町は新規就農者を応援します

農業を始めるにあたって何から始めればよいのか、農地はどうしようか、必要な機械はどう揃えたらいいかなどのたくさんの疑問が出てきます。高畠町では親子間承継、第三者承継の就農相談も受け付けています。まずは就農相談で一つずつ疑問を解決してみましょう！



●就農までの道のり●

- ① 実現したい農業経営を想い描く
- ② 就農相談
- ③ 農業を体験する
- ④ 学校や農家のもとで技術を学び、修得する
- ⑤ 就農に向けた準備
- ⑥ 農業経営を開始



就農相談については農林課農政生産係までお問い合わせください。

☎52-1827

農業委員会 活動報告

視察研修を終えて

視察研修報告(9月9日)

農振専門員 高橋正利



9月9日に、新庄市にある東北農林専門職大学へ行ってきました。
専門職大学では、農業、林業の現場で実践力を身につけるため、臨地実習や新規就農支援研修、農業機械研修など多様なプログラムを実施していました。大学や地域のフィールドを活用し、作物管理・機械操作・経営知識などを総合的に学べる点が特徴で、即戦力となる人材の育成を目指しているそうです。今後は地域と関わりながらさらなる研修体制の拡充を図っていききたいとのことでした。
このような環境で学んだ多くの若者たちが、農業で活躍できる未来に期待します。



視察研修報告(11月4日)

アグリ平泉研修報告

農地専門員 山田文則

岩手県平泉町にある「農事組合法人アグリ平泉」にて視察研修をしてきました。
この法人は、2006年の基盤整備事業を契機に大規模農業に対応するために設立され、現在115haの土地に小麦・大豆・水稲・ワイン用葡萄を栽培しています。

小麦の品種である「コユキコムギ」は平泉で育まれた《幻の小麦》と呼ばれており、高い栄養価が特徴の国産小麦です。アグリ平泉では、この小麦を使用したパンを製造販売しているということでした。

また、耕作放棄地を再生してブドウの定植から醸造までを手がけているそうですが、製造量が目標の6000リットルに届かず仮免許での製造を行っているとのこと。パンの製造販売が順調なため黒字になっていますが、収量の減収、加工部門の売り上げ減少、冬期間作業の確保、後継者の育成など課題は多々あるようでした。



大会参加報告(11月5日)

山形県農業委員会大会に参加して

農地専門員長職務代理 庄司和美

本年度の県大会は、11月5日にやまぎん県民ホールで開催されました。表彰・来賓祝辞の後、全国農業会議所の植田事務局長より講演がありました。「最近の農業情勢」について、従来の作況指数を廃止して精米ベースでの需要見通し作成に変更されたことや、米価高騰問題に対する政府の対応等について報告がありました。

「地域計画の策定」については、令和7年度以降の取り組みとして、目標地図に沿った担い手集積・集約の実現。耕作者の動向を把握し、地域外からの担い手等呼び込むといった、完成度を高めるブラッシュアップを目指したいとの内容でした。

次に、「一般社団法人ふあーむなかつがわ」の取り組みについて事例報告がありました。この法人では、「地域まるっと中間管理方式」を採用し、中津川地区の農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付け、その全てを借り受けています。担い手は、法人と特定作業受委託を行うことで今まで通り農業を維持でき、営農できない農地は、法人が管理を引き継ぐことで農地の荒廃を防ぐことができるという内容でした。

令和7年度の米概算金が昨年度より1万円以上高いことにより農業収入の増加を実感しておりますが、来年度以降もこの価格を維持できるのであれば農業従事者の増加も期待できるものと思います。また、中山間地域の基盤整備が優先的に進み、農地集積率アップに繋がることが期待したいものです。

編集後記

昨年の夏も猛暑日更新の暑い日が続きました。昔から「日照りに不作なし」と言われましたが、近年の猛暑は強い日射を伴うことが多いため、収量は一概に言えない面があります。2000年頃から稲作での対策として高温耐性品種の開発が始まりました。高温でも品質の落ちにくい品種の改良を進め、実際に生産し結果を出していることは、世界に胸を張れる日本の技術に他なりません。

さて、今年の干支はうま(牛)です。干支の中でも馬は前向きなエネルギー、成功繁栄のシンボルとして、また農耕民族である日本人には、労力として生活に必要な不可欠な存在であり、欠かせないパートナーでした。力強く、まっすぐ前へ進む馬のように、夢に向かって突き進みたいものです。

皆様にとりまして、本年が明るく健やかな一年となりますようお祈りいたします。

(編集委員長 長谷川みどり)

農委広報「たかはた」

編集委員

委員長	長谷川みどり
副委員長	嶋津功美
委員	山田文則
委員	黒田雅幸
委員	萩原拓重
委員	高橋正利